

美幌町における景気動向調査報告書

＜ 第 IV 四 半 期 ＞

美幌商工会議所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成30年1月

(2) 調査対象期間 平成29年10月～12月期実績及び平成30年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象1

(1) 景気動向調査

会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の5業種100事業所に対しアンケート方式により調査した。

3. 業種別回答状況（事業所数）

業 種	企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業		20事業所	7事業所	35.0%
建 設 業		25事業所	9事業所	36.0%
卸 売 業		5事業所	3事業所	60.0%
小 売 業		30事業所	9事業所	30.0%
サービス業		20事業所	2事業所	10.0%
合 計		100事業所	30事業所	30.0%

○ 本調査結果中の「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

業種別D I

業 況 (%)	今期（2017年10月～12月）の実績 （前年同期比）				2018年1月～3月の見通し （前期比）			
	好 転	不 変	悪 化	D I 値	好 転	不 変	悪 化	D I 値
全 業 種	33.3	46.7	20.0	+13.3	3.3	46.7	50.0	-46.7
小 売 業	33.3	33.4	33.3	±0.0	11.1	44.5	44.4	-33.3
建 設 業	22.2	66.7	11.1	+11.1	0.0	44.4	55.6	-55.6
製 造 業	28.6	28.6	42.8	-14.2	0.0	57.1	42.9	-42.9
サービス業	50.0	50.0	0.0	+50.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸 売 業	66.7	33.3	0.0	+66.7	0.0	0.0	100	-100

売上高 (%)	今期 (2017年10月~12月) の実績 (前年同期比)				2018年1月~3月の見通し (前期比)			
	増加	不変	減少	DI値	増加	不変	減少	DI値
全業種	33.3	46.7	20.0	+13.3	3.3	33.3	63.4	-60.1
小売業	33.3	33.4	33.3	± 0.0	11.1	33.3	55.6	-44.5
建設業	22.2	66.7	11.1	+11.1	0.0	33.3	66.7	-66.7
製造業	28.6	28.6	42.8	-14.2	0.0	28.6	71.4	-71.4
サービス業	50.0	50.0	0.0	+50.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	+66.7	0.0	0.0	100.0	-100.0

※ 建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を表す。

在庫水準 (%)	今期 (2017年10月~12月) の実績 (前年同期比)			
	過大	不変	不足	DI値
全業種	26.3	52.6	21.1	+ 5.2
小売業	22.2	66.7	11.1	+11.1
建設業	—	—	—	—
製造業	28.6	28.6	42.8	-14.2
サービス業	—	—	—	—
卸売業	33.3	66.7	0.0	+33.3

採算 (%)	今期 (2017年10月~12月) の実績 (前年同期比)			
	好転	不変	悪化	DI値
全業種	33.3	43.4	23.3	+10.0
小売業	22.2	44.5	33.3	-11.1
建設業	33.3	44.5	22.2	+11.1
製造業	28.6	42.8	28.6	±0.0
サービス業	50.0	50.0	0.0	+50.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	+66.7

資金繰り (%)	今期 (2017年10月~12月) の実績 (前年同期比)				2018年1月~3月の見通し (前期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	23.3	56.7	20.0	+ 3.3	0.0	56.7	43.3	-43.3
小売業	11.1	66.7	22.2	-11.1	0.0	55.6	44.4	-44.4
建設業	22.2	55.6	22.2	±0.0	0.0	66.7	33.3	-33.3
製造業	28.6	42.8	28.6	±0.0	0.0	42.9	57.1	-57.1
サービス業	50.0	50.0	0.0	+50.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸売業	33.3	66.7	0.0	+33.3	0.0	33.3	66.7	-66.7

Ⅱ. 概 況

《 全体の動き 》

平成29年度第IV四半期（10月～12月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が33.3、「悪化した」と答えた企業割合が20.0「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は+13.3ポイントとなっており、前期（7月～9月）D・I値△11.8と比較し25.1ポイント改善しており、回復傾向となっておりますが年末という要因があるようです。業種別で前期と比較して見ると、小売業±0、サービス業+50、建設業+11.1、卸売業+66.7、製造業△14.2ポイントとなっております。また、来期（1月～3月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が3.3、「悪化する」と答えた企業割合が50.0であり、D・I値△46.7と大きく悪化する見通しと予測しております。

経営上及び業界の問題点では、諸経費の増加として光熱費の負担増加・設備投資、建設業・製造業では仕事量の減少、技術職の人材不足などが問題点としてあげられています。

また、公共発注工事の条件として「地元には本社がある事業者であること」というように地元業者を優先してほしいとの要望がありました。

＜ 業 種 別 の 動 き ＞

- 1) 小 売 業 売上高 前期と比較して「増加した」と答えた企業割合と「減少した」と答えた企業割合が共に33.3、D・I値±0となり、前期と比較し11.1ポイント改善しています。
また来期（1月～3月）の見通しをみると、「増加する」と答えた企業割合が11.1、「減少する」と答えた企業割合が55.6、D・I値が△44.5となっており、年末需要効果で一時的に改善しましたが今期（1月～3月）については厳しくなると予測されています。
- 資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業が11.1、「悪化した」と答えた企業割合が共に22.2、D・I値△11.1、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が44.4、D・I値△44.4となっており、資金繰りは売上高の増加が見込まれない中、厳しくなると予測しています。
- 2) 建 設 業 完成工事高 前期比で「増加した」と答えた企業割合が22.2、「減少した」と答えた企業割合11.1、D・I値+11.1、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が66.7、D・I値△66.7となっており、今期と比較し77.8ポイントと大きく減少する見通しであり冬期間については非常に厳しい見通しであると予測されています。

2) 建設業 **資金繰り** 前期比で「好転した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が共に22.2、D・I値±0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が33.3、D・I値△33.3になっており、冬期間の工事受注の増加が見込めない中、資金繰りは厳しい状況が予測されています。

3) 製造業 **生産高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が28.6、「減少した」と答えた企業割合が42.8、D・I値△14.2、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が71.4、D・I値△71.4になっており、生産高増加が見込めない厳しい見通しであると予測されています。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が共に28.6、D・I値±0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が57.1、D・I値△57.1になっており、生産高の増加が見込めない中、資金繰りは益々厳しい状況であると予測しています。

4) サービス業 **売上高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が50、「減少した」と答えた企業割合が0、D・I値+50、来期の見通しをみると「不変」と答えた企業割合が100であり、今期についても売上高については明るい兆しが見えているようです。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合が5、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値+50、来期の見通しをみると「不変」と答えた企業割合が100になっており、売上高同様に資金繰りについても安定すると予測されています。

5) 卸売業 **売上高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が66.7、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値+66.7、来期の見通しを見ると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が100、D・I値△100になっており、来期については回答した事業所すべてが減少するであろうと予測しています。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合が33.3、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値+33.3、来期の見通しは「好転する」と答えた企業割合が0「悪化する」と答えた企業割合が66.7、D・I値△66.7と大きくマイナスになっており売上高と共に資金繰りについても厳しくなると予測されています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小 売 業	得意先の減少	同業者間の競合	諸 経 費 増	売掛金回収難／人 件 費 増	
建 設 業	人材不足／人件費増／資金調達困難／客数の減少			諸 経 費 増／同業者間の競合	
製 造 業	人 材 不 足	諸 経 費 の 増／同業者間の競合／人 件 費 増			
サービ業	諸経費増				
卸 売 業	得意先の減少	同業者間の競合／人 件 費 増			